



2022年5月30日

各位

会社名 株式会社パイオラックス  
代表者名 代表取締役社長 島津 幸彦  
(コード：5988 東証プライム)  
問合せ先 経営管理部長 永島 亨  
(TEL. 045-577-3880)

## 配当政策の変更及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2022年5月30日開催の取締役会において、下記のとおり配当政策の変更を決議いたしましたので、お知らせいたします。また、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期の配当予想につきまして、今回の配当政策の変更に伴い、下記のとおり修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 配当政策の変更の理由及び内容

##### (1) 変更の理由

当社は、2021年6月11日に公表いたしました2023年度（2024年3月期）を最終年度とする中期経営計画をローリングすることとし、それに際し、昨今の当社株価の低迷の要因を分析するとともに、その対応策につき取締役会で議論を重ねました。その結果、ROICとWACCの差額である「EVA スプレッド」がマイナスである状態が続いていることに要因があることを認識するとともに、資本効率性を上げていくことが重要であるとの結論に達しました。それに伴い、2023年3月期から2025年3月期までの3年間の配当方針を変更することといたします。

##### (2) 変更の内容

###### ① 変更前

当社グループは、最大より最良を目指す「質重視」の経営方針に基づいて収益力の向上、財務体質の強化を図っておりますが、株主の皆様に対する利益配分につきましては、安定配当の継続をベースとしつつ、業績に裏付けられた弾力的な利益還元を行うことを基本方針としております。

###### ② 変更後

当社グループは、株主価値ひいては企業価値の向上を図るためには、正のEVA スプレッドの維持向上が必要不可欠であると考えており、最大より最良を目指す「質重視」の経営方針に基づいて収益力の向上及び資本効率性の向上を目指します。株主の皆様に対する利益配分につきましては、企業価値向上に資する成長投資を確保しつつ、資本効率性を勘案した、弾力的な利益還元を行うことを基本方針としております。

また、状況に応じて、自己株式の取得など総還元性向に軸足を置いた諸施策を機動的に実施してまいります。

なお、2023年3月期から2025年3月期までの3期間は、自己資本の積み増しの抑制とグループキャッシュマネジメントの徹底により、連結配当性向100%を目標に配当を実施してまいります。

##### (3) 変更の時期

2023年3月期第2四半期末の配当より適用いたします。

なお、2022年3月期は従来どおり、1株当たり年間45円（中間22.5円、期末22.5円）を予定しております。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 修正の内容（2023年3月期配当予想）

	年間配当金					配当性向 (連結通期)
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	
前回予想 (2022年5月12日 公表)	—	25.00	—	25.00	50.00	39.4%
今回修正予想	—	60.00	—	67.00	127.00	100.2%
当期実績	—	—	—	—	—	—
前期実績 (2022年3月期)	—	22.50	—	22.50	45.00	37.0%

### (2) 修正の理由

上記の配当政策の変更をふまえ、2023年3月期の配当予想につきましては、1株当たり50円から127円に修正（増配）いたします。

※ 2024年度（2025年3月期）を最終年度としてローリングした新中期経営計画の詳細につきましては、2022年6月9日に公表する予定です。

以 上